

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2023年9月
第54号
(年4回発行)

秋号

発行部数3千部



おさらい 秋から冬の仏教行事

シリーズ浄土宗／浄土宗のはじまり（浄土宗開宗850年）

実践教室／数珠の持ち方

お月見チャリティーコンサートのご案内

おさらい

秋から冬の仏教行事

一年を通して寺院で行われる仏教行事はさまざまあります。代表的なものとしては彼岸会がありますが、秋の彼岸会から春の彼岸会の間には、主に浄土宗で行われるお十夜の法要や成道会、仏名会などの行事も行われています。あまり耳慣れない行事と思われる方もいるのではないのでしょうか？ それらはどのような行事なのでしょう？



九月「秋彼岸会 9月20日～26日」

問 秋分の日を中日として前後3日間が秋彼岸ですが、そのはじまりはいつなのでしょう？

答 彼岸会は日本独自の仏事で、起源は今から1200年以上前にさかのぼります。早良天皇の御霊を鎮めるための祈りの行事として、全国の国分寺の僧侶が、春と秋に7日間にわたり読経を行ったことがはじまりとされています。

問 お彼岸にお墓参りするのはなぜですか？

答 「私たちがこの世に存在しているのは、両親、祖先からの連続と続いた生命の結果である」という仏教の考えでは、墓というのは死者の住む場所ではなく、引き継がれてゆくいのちを感得する場所と考えます。ですから、お墓参りは年忌があるときはもちろん、機会があるごとに出かけたくなります。昔から、その時期として春秋のお彼岸、お盆の時期があてられています。お彼岸に限らず、いつでも思い立った時には先祖を訪ね、お参りしてください。

十月～十一月「お十夜（十夜会）」

問 お十夜は、10月から11月にかけて浄土宗寺院で行われる行事とのことですが、どのような法要ですか？

答 お十夜は、「十夜法要」「十夜講」「十夜念仏」などいろいろな呼び方がありますが、季語にもなっていますが、正式には、「十日十夜法要」と言い旧暦の十月五日夜から十五日の朝まで十日十夜にわたってお念仏をとる法要でした。

この法要は、浄土宗のよりどころとする經典の浄土三部經の一つ「無量壽經」の一説「この世において十日十夜の間善行を行うことは、仏の国で千年間善行することよりも尊い」と説かれていることよって、その教えを実践したもので、阿弥陀さまのお慈悲に感謝する法要とされています。現在、一般の浄土宗寺院では、古式の十夜会の伝承が難しく、その期間は十日間から五日、三日、一日と短縮される寺院が多いようです。

十二月「成道会・仏名会」

問 成道会はいつでしょうか？

答 成道会は、花まつり（灌仏会）、涅槃会と並ぶ、釈尊三大法要の一つで、お釈迦さまが悟りを開かれたこと（成道）を記念して12月8日に行う法会です。

浄土宗では、お釈迦さまが仏教を開かれ、お念仏の教えを伝えてくださったことに対する感謝の意を込め、お釈迦さまの名と阿弥陀さまの名（南無釈迦牟尼仏、南無阿弥陀仏）をと覚えてお勤めします。

問 お釈迦さまは何を悟ったのですか？

答 お釈迦さまが、ブツダガヤの菩提樹の下で悟った真理は縁起の理論（苦しみを巡る因果関係）であったと言われています。それは、仏教の根本原理とされる「四諦八正道」と呼ばれるもので、苦しみに関する4つの真理と、苦しみを消滅するための8つの実践方法です。

問 仏名会はどのような法会ですか？

答 仏名会は、歳末に私たちがこの一年で、知らず知らずのうちに作ってしまった罪業を懺悔する法会で、過去・現在・未来の三世にわたって存在する諸仏の名をとえ、滅罪生善を祈る法要です。大本山増上寺では、身・口・意の三業より犯してしまった様々な罪を浄めるため、改めてお念仏をとえ三日間にわたり総数で百回の礼拝をお勤めします。



浄土宗のはじまり

一心に専ら弥陀の名号を念じて、
行住坐臥に時節の久近を問わず。
念念に捨てざる者、これを正定の業と名づく。
かの仏の願に順ずるが故に。

開宗の文

開宗の文（現代語訳）

いついかなる時でも一心に
「南無阿弥陀仏」とお念仏を
となえる。

これを毎日繰り返ししていく
ことが極楽往生を叶える確か
な修行となる。

なぜなら私たちがお念仏を
となえて極楽に往生すること
こそ、阿弥陀仏の願いに他な
らないのだから。

参考 浄土宗【公式サイト】
(jodo.or.jp)



法然上人

浄土宗

開宗850年

お念佛からはじまる幸せ

令和6年

浄土宗は、浄土教を源流として、その念仏の教えを受け継ぎ今から八百五十年ほど前に、法然上人によって開かれました。

比叡山延暦寺にのぼり知恵第一の法然房と呼ばれていた法然上人ですが、どれだけ修行を重ねても万民救済の道を見つけないことが出来ず苦悩しているときに唐の善導大師が著した『観無量寿経疏（観経疏）』の一節により専修念仏の思想にたどり着きます。

※善導大師とは、中国浄土教の教義体系をまとめ、また、多数の書を著し中国浄土教を大成させた人物。

法然上人が、京都東山吉水に庵をかまえ浄土宗を開いたとされるのは、承安五年（1175）。

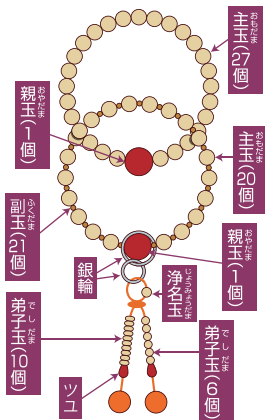
これまでであった難解な学問や修行を必要とする仏教の教義ではなく、ただひたすらに阿弥陀仏の本願を信じて「南無阿弥陀仏」とその名をとなえれば誰でもが等しく救われると説いた法然上人のその革新的な教えは、広く民衆の間に広がっていきました。

来年（令和6年）、浄土は宗開宗850年を迎えます。

数珠の持ち方

数珠（念珠）は、葬儀参列や法事、お墓参りの時などに手にする私たちにとって身近な仏具です。

男性用数珠と女性用数珠とあり、宗派によっても違いがありますが、浄土宗では、「日課数珠」「百八数珠」「莊嚴数珠」の三種類があります。



日課数珠

一般の檀信徒が使う日課数珠は、浄土宗独自のものです。二つの数珠を組み合わせた二連の数珠で、とねえた念仏の数を数えられる仕組みになっています。

交差させた二つの輪にそれぞれ「親玉」と「主玉」があり、一方の輪には「主玉」の間に「副玉」と呼ばれる小さな玉が入り、交互にならんでおり、「副玉」が入っている方の輪に金属製の輪が大小二つと房が繋がっています。



浄土宗の数珠の持ち方・使い方

念仏をとねえる時は、左手に副玉が入っていない方の輪を親指と人差し指の間に掛け、副玉が入っている方の輪を人差し指と中指に挟みそのまま数珠を握り念仏をとねえます。副玉の入っていない方の玉を一念ごとに親玉から一つ一つ親指で手前に繰っていきます。合掌をする時は、二つの輪を揃え、両方の親指に掛け、房を手前に垂らします。親指を揃え、数珠を親指で押さえるようにして持ちます。

暮らしの中の 仏教語

「愚痴」【ぐち】

「愚痴」とは「言っても仕方のないこと」を嘆くこと。わかってはいるのだけど、つつい愚痴の一つでも言いたくなる事ってありますよね。でも仏教では、この「愚痴」は私たちの心の中に宿る煩惱の中でも特に強力な「三毒の煩惱」の一つとされているのだとか。三毒は一つ、貪欲=むさぼり欲しががる心。二つ、瞋恚(しんに)=いかり腹立つ心。そして三つめが愚痴。愚痴は、目先のものとらわれ、ものごとの真理を理解する能力のない愚かな心を指しているのだそうです。強力な三毒などと聞いてしまうと愚痴をこぼさないようにした方がよさそうです。特効薬は、ポジティブな考えと感謝の心なのだとか…。



第14回 西願寺

十三夜お月見 チャリティーコンサートのご案内

毎回好評の西願寺「十三夜お月見チャリティーコンサート」14回目となる今回のゲストは、ジャズシンガーの下總佐代子さんです。お寺の本堂でジャズの魅力を存分に味わう夜を一緒に過ごしませんか？

日時 令和5年10月27日(金) 18:00受付

場所 西願寺 本堂

参加費 1,000円

※参加希望の方は、西願寺までお気軽にお問合せお申込みください。



ます。大切な事なのだと思います。

われるそのお気持ちが、法事を営もうと思方も多いです。何より後で日にちを組まれるは意外と難しくその前日に法事を執り行うの

います。また、祥月命日(ご命日)を1回目の忌日と数えるので、2年目は三回忌、6年目が七回忌になります。亡くなられた翌年を1年経ったという意味で一周忌と呼びますが、実際には二回忌にあたります。

いろいろな数字が出てくるので混乱してしまいますよね。ですから、節目の法要の年を間違われる方も一年遅れで法事をされる方もいらつしゃ

るし…。一年遅れで七回忌法要なんて変ですか？
どうすればいいのでしょうか？

Q & A

A

回忌法要とは、年忌法要とも言い故人の祥月命日に執り行われる法要のことです。節目の法要として一周忌、三回忌、七回忌、十三回忌…とあります。お亡くなりになった日(ご命日)を1回目の忌日と数えるので、2年目は三回忌、6年目が七回忌になります。亡くなられた翌年を1年経ったという意味で一周忌と呼びますが、実際には二回忌にあたります。

Q

七回忌の法事を行う年数を一年間違えていました。次の十三回忌までは間がありません。一年遅れで七回忌法要なんて変ですか？
どうすればいいのでしょうか？



西願寺 TEL. 048-925-1723 FAX. 048-925-1789
彩の都メモリアルパーク TEL. 048-921-4194

掲 示 板

秋彼岸会

9月20日(水)～9月26日(火)

葬祭フェア開催のお知らせ

9月23日(土)・24日(日)

場所…彩の都 あすま会館

当日は、会場で祭壇等の展示と葬儀についてのご相談やご質問をお受け致します。お気軽にお越しください。

彩の都メモリアルパーク 秋の合同彼岸会法要

日時 9月23日(土) 10:00～

場所 彩の都 あすま会館3階

彩の都メモリアルパークでは、上記日程で秋の彼岸会合同法要をお勤めします。是非、ご参列くださいますようお願い申し上げます。



永代供養墓 「華苑」「光明苑」のご案内

彩の都メモリアルパークでは、永代供養墓「華苑」、永代供養塔「光明苑」のご案内をしています。



永代供養墓「光明苑」

お墓の後継ぎのない方や、これからのご自身のお墓に不安を抱えていらっしゃる方など、さまざまな方にご好評を頂いております。詳しくは、彩の都メモリアルパーク管理事務所までお気軽にお問合せください。



永代供養墓「華苑」

■お便り募集■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。

◆イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんが」編集部

東京都千代田区麹町二・十・三・一〇二

FAX 03 (62695) 1362 Mail: info@io-conet

■次号予告

次号は令和五年十二月発行予定の「新年号」です。





◆編集後記◆

皆さんが持っている数珠はどのような数珠ですか？数珠は、色や素材、種類も色々ありますが、特に浄土宗の数珠は他宗と違う独特な形をしています。称えたお念仏の数を数えられるととても機能的な作り。いつ誰が考えたのかと調べると、これは、浄土宗の開祖法然上人に深く帰依し弟子となった京都伏見に住む陰陽師阿波介（あわのすけ）が日課念仏を称えるために考案したのだとか。法然上人が浄土宗を開いたのは、今からおよそ850年前、そんな昔からこの形のお念珠があったんですね！と感動してしまいました。

さて、秋号では毎回、お月見コンサートの案内を掲載していますが、今回のゲストはジャズシンガーの下總佐代子さん。秋の夕べに落ち着いた雰囲気味わえるジャズ！素敵ですね。間近で聞いてみたいと思われる方は是非、西願寺にお問合せの上ご参加ください。

発行者

遊馬山一行院 西願寺

〒三三〇〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三〇〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町二二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんか」編集部